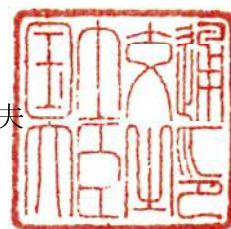


認 定 書

国住参建第 2280 号
令和 6 年 9 月 30 日

フネンアクロス株式会社
代表取締役 稲葉 久敬 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1297
2. 認定をした構造方法等の名称
繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表 1 に示す。

表 1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ 261mm以下)
	面積	0.054m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		92.1%以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		5～12mm
貫通する壁の構造等		人造鉱物繊維断熱材充てん／両面・両面ボード用原紙張せっこう板・強化せっこうボード張／軽量鉄骨下地間仕切壁(国土交通大臣認定FP060NP-0473-1(2)) 厚さ 94mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表 2 構成材料の仕様

項 目	仕 様	
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：①又は② ①シリコーン系 ②変成シリコーン系
	充てん量	隙間に密に充てん (壁の両側に奥行14mm以上、盛上げ5mm以上、掛かり代5mm以上)

表3 配管の仕様

項 目			仕 様		
配管	耐火二層管	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			形状	円筒	
			組成 (質量%)	セメント：①、②又は組合せ ①ポルトランドセメント(JIS R 5210) ②エコセメント(JIS R 5214) 無機質混和剤・軽量骨材 有機繊維 ただし、 非公開	
			密度	1.4(±0.3)g/cm ³	
			寸法	呼び径	20～200〔近似外径φ38～φ237mm〕
				厚さ	5.5～8.5mm
		表面処理材	材料	仕様：あり又はなし アクリル樹脂系	
			質量	90g/m ² 以下	
		内管	材料	種類：①、②又は③ ①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742)(VP、HIVP 又は VU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT) ③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP)	
			寸法	呼び径	20～200〔基本寸法φ26～φ216mm〕
				厚さ	1.8～11.0mm
		空間成形材	形状	シート又はリング	
			材料	仕様：あり又はなし 種類：①、②又は③ ① 非公開 ② 非公開 ③ 非公開	

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様	
バックアップ材	材料	仕様：あり又はなし ①又は② ①発泡ポリエチレン系 ②ロックウール	
	外径	材料①：φ13mm以下	
	密度	①23.2kg/m ³ ②80kg/m ³ 以上	
	使用箇所	必要に応じて、充てん材のバックアップ材に用いる	

5. 構造説明図：
構造説明図を図1示す。

単位 mm

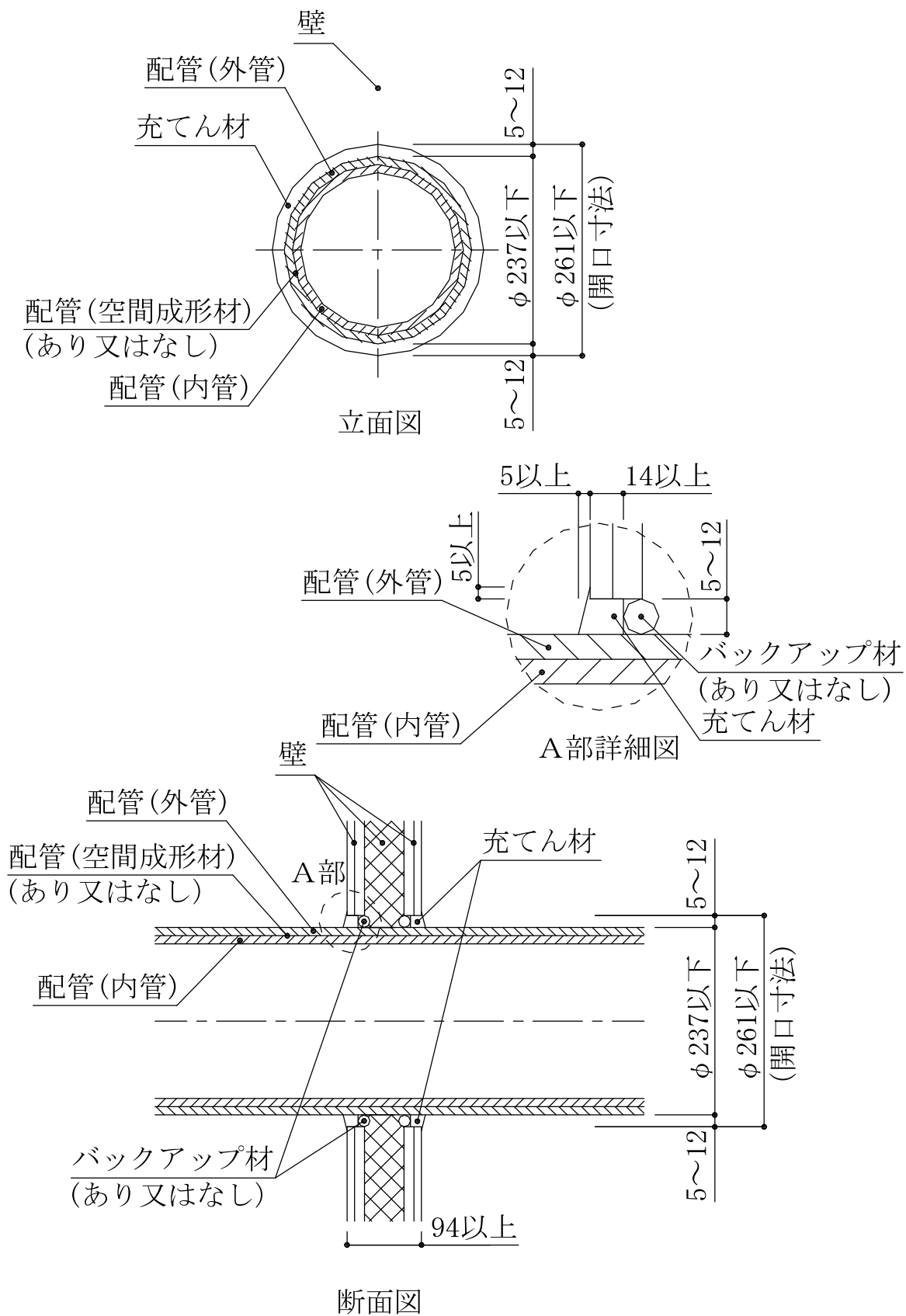


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 配管材料の受入とサイズ・数量の確認及び運搬・保管

〔受入とサイズ・数量の確認〕

受入時は、表示された品名、呼び径、数量などが適合しているかを確認する。

(2) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。

(3) 貫通部の埋め戻し

配管と開口部の隙間にシーリング材を密に充てん(壁の両側に奥行 14mm 以上、盛上げ 5mm 以上、掛かり代 5mm 以上)する。必要に応じて、バックアップ材を用いることが出来る。